

甲状腺エコー検査？放射能？ QアンドA

Q. 前に受けたから大丈夫？

震災当時0～18才の子どもを対象としている、福島県の甲状腺検査では、甲状腺がん（悪性疑い含む）の方が200名以上と、多く確認されています。若年性甲状腺がんは進行が早い傾向があり、1～2年を目安に定期的な検査をうけていただくよう願っています。

Q. どんな検査？

首のところにある甲状腺を超音波

（エコー）で調べる検査です。妊娠中、

赤ちゃんの様子をエコーで見るのと同様です。痛みや害はなく、3～4分程度で終わります。検査結果についてはその場でわかり、お帰りの際、検査写真や報告書をお渡しします。



Q. どうして検査するの？

原発事故当初、原発から放流した放射能が宮城県内にも飛来していました。とりわけ、放射性ヨウ素による甲状腺への晩発性影響を確認するためです。

Q. 先生は？

今川 篤子(いまがわあつこ) 医師

東京勤労者医療会 あびこ診療所所長・千葉県
医療相談:山崎 知行(やまざきともゆき) 医師
上岩出診療所・和歌山県

Q. 「いずみ」について

「放射能問題支援対策室いずみ」は、複数の医師や各地の住民・市民と協力し、これまでのべ3000人以上の甲状腺検査を行っている民間支援団体です。



会場アクセス

東北教会センター「エマオ」

仙台市青葉区錦町一丁目十三の六 ☎ 〇二二-二二二-〇九九〇

仙台駅・地下鉄南北線勾当台公園駅から徒歩十三〜十四分程度

(公共交通機関のご利用をお願いいたします。)